

交雑種（F 1）による和牛子牛の生産が始まりました

和牛と乳牛の交配により生産されたF1 雌牛は、和牛と比べ体格が大きく、泌乳能力も高いことから、受精卵移植の受卵牛として活用されています。

昨年度、碓高原牧場では府内産和牛の増産を目的に、20 頭のF1 雌牛を導入しました。昨年 9 月から順に和牛受精卵の移植を行い、今月から子牛を産み始めています。今年出産予定の 20 頭の子牛は、およそ 100 日齢で府内の和牛農家に譲渡します。

繁殖農家からは、母牛を増頭せずに子牛を増やすことができ、育成後は肥育素牛としてせり市に出荷できることから、大きな期待が寄せられています。



F 1 雌牛が生産した和牛子牛